

卸系多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

KYOU-RYU. ESPRESS

令和6年6月28日

J A 福井県

つきあかり速報

No.4

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

6月22日(土)に北陸地方の梅雨入りの発表があり、平年より11日遅い梅雨入りとなりました。この先は梅雨前線が停滞し、曇りや雨の日が多くなります。曇りや雨の日はそれほど気温は上がらないものの、湿度が高く、不快な蒸し暑さとなりそうです。週末には、前線の活動が活発となり再び大雨に警戒が必要です。今年の梅雨は梅雨入り直後から大雨になっており、今後も油断のできない状態が続きます。今週のつきあかりは、中干し開始の目安となる茎数に付近で数値の停滞となりました。今後の雨天や曇天に伴い圃場が乾かない場合も想定されるため、中干しを順次開始してください。

1. J A 生育調査状況 (6月26日現在)

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色
移植	5月4日	70.2	255.8	-	4.4

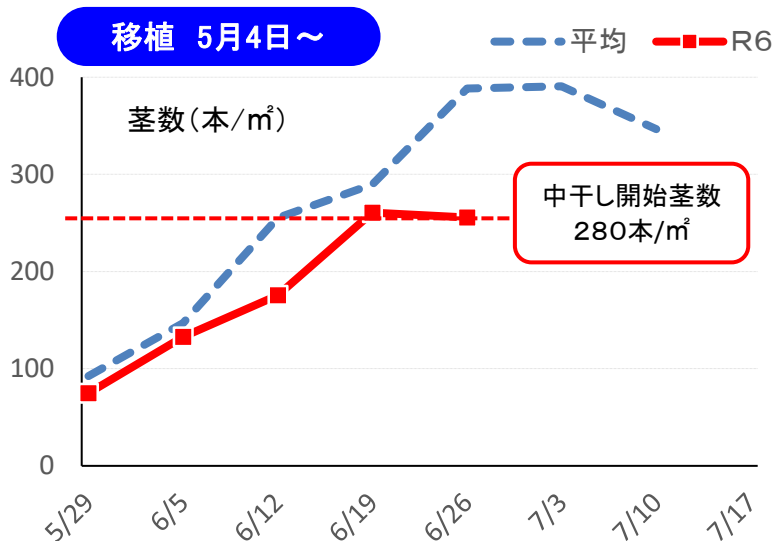
- 生育は、茎数が先週の値からほぼ横ばいとなりました。数値が低いですが、中干しを開始する時期を迎えたと判断します。

草丈と葉色は平年並みとなりましたが、茎数が平年より100本/㎡少ない状態です。

【平年比】

●草丈: 並み ●茎数: 少ない ●葉色: 並み

2. 茎数の推移と今後の管理



3. つきあかり栽培管理のポイント!

中干し終了後の水管理

浅水の通水を実施し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

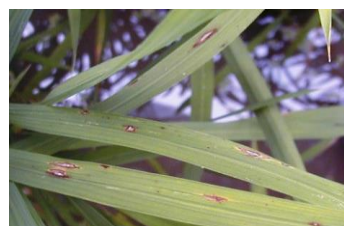
間断通水で多収穫!!
中干し終了後の水管理

- 入水: 水位: 3程度 自然落水
- この水管理の 繰り返し。

足跡や溝に水が残っている状態で再び入水。

いもち病対策

梅雨入りしましたので、稲体を確認し、いもち病発生が見られたら至急、薬剤防除を実施しましょう。



ブラシン粉剤
(3~4kg/10a)
治療剤収穫7日
前まで使用回数
2回以内